



## 令和元年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる施策方針

まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を目的として、令和元年5月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

令和2年3月

政策経営部長 齊藤 邦彦

### 1 総括

- 1 総合戦略を着実に推進するため、行政評価を通して事務事業の適正化に努めるとともに、各事業に積極的に取り組み、鯖江市総合戦略推進会議において成果指標の達成状況を検証し成果と課題を精査した上で、「世界のめがねの聖地SABAEの確立」に向けた第2期「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
- 2 指定管理者制度の適切な運用を図るため、施設所管課による内部評価を実施することでモニタリングの強化を図るとともに、指定管理業務に関する労務管理講座を実施し、指定管理者による適正な労務管理の推進を図りました。
- 3 UIターン者の定住や移住促進に向けて、新たに移住就職者に対する支援制度を創設し支援を行うとともに、県内外の移住イベント等で、自然、文化などの地域資源の魅力や住みよさ、子育て環境の良さを積極的にPRしました。
- 4 持続可能な開発目標SDGsの推進に向け、推進チームを設置するとともに各部施策方針や各種計画に関連するSDGsの目標を反映することで施策の確実な実施につなげました。また、市民への認知度向上と意識の醸成を図るため、SDGsウィーク等を通して啓発や学習の場を設けたほか、「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」の選定を受け、市民参加型のシンポジウムを開催するなど、積極的な啓発活動を行いました。さらに、女性活躍や教育などの分野を中心に、企業や学校、市民団体等と協働で、地域特性を活かしたSDGsの取組みを推進し、鯖江版SDGsの確立とロールモデルとしての情報発信につなげました。
- 5 女性が輝くまちを目指して、男女共同参画プランと女性活躍推進計画を一体的に策定し、男女がともに生き、ともに活躍できる社会を推進するとともに、市内外の企業などと連携し、女性が働きやすく、活躍できるまちづくりに努めました。また、市民団体と協働で、男女共同参画にかかるワークショップや学習会等を開催し、普及啓発を図りました。
- 6 市ホームページでの情報発信に加え、多言語ユニバーサル情報発信アプリを導入し、外国人や障がいを持つ人たちが情報を共有できるよう、広報紙をはじめ多様な情報提供を行いました。また、市と民間の若手女性職員により企画・製作し、流行に敏感な若い女性層をターゲットとして、SNS（主にインスタグラム）と連動して鯖江市の魅力を発信していくサイトを立ち上げました。

- 7 首都圏や関西圏において「めがねのまちさばえ」のシティプロモーションを行い、更なる認知度・知名度向上に努めたほか、めがねのまちさばえ応援企業等との連携で、本市の魅力を発信しました。また、SNSを活用して特にF1層（20～34歳）からのさばえファン（関係人口）の獲得を図りました。
- 8 ふるさと納税を通して市や産業等のPRを行うことにより、自主財源の確保と地域活性化を図り、持続可能な自治体経営に寄与しました。
- 9 市債発行額の抑制や早期償還により、プライマリーバランスの恒常的な黒字を維持するなど、財政健全化指標の適正水準を維持し、子や孫の将来世代に負担を残さない健全な財政運営に努めました。
- 10 資金調達の多様化と市民の行政への参加意識の向上を目的に、「元気さばえっ子・ゆめみらい債」を4億円発行しました。
- 11 鯖江市公共施設等総合管理計画に基づき、全庁的体制での施設マネジメント強化および総合的・計画的な管理を推進し、個別施設計画（学校、市営住宅を除く。）を策定しました。
- 12 行政事務・手続きのデジタル化/キャッシュレス化推進を図るため、各課業務ヒアリングを実施し、今後の施策展開の指標となる「鯖江市情報化戦略プラン」の策定に取り組みました。また、市民窓口課や市内公共施設でのキャッシュレス決済の導入に取り組みました。さらに、市民の誰もがICT（情報通信技術）に親しめるよう、タブレット端末やアプリケーションに親しむ「ITに親しむ講座」、幅広い市民の方にITをより身近なものとして感じてもらう体験型の「IT推進フォーラム」を開催し、情報デバイドの解消に努めました。
- 13 工業統計調査、経済センサス基礎調査、全国家計構造調査を実施したほか、各種統計データを公式ホームページで公開しました。また、調査員を継続して募集し確保に努めるとともに、調査員研修を行い調査能力の向上を図り、統計調査の体制強化に努めました。
- 14 市民の市税に対する理解を深めるため、税制度を分かりやすく積極的に広報するとともに、公平負担の原則のもと適正な課税に努めました。
- 15 市税および使用料等の収納増に向け、納税指導および滞納処分を積極的に実施する中、納税者の利便性向上を図るため、キャッシュレス決済のスマホアプリ収納チャネルを追加導入しました。また、納税相談者の生活状況を把握することに努め、多様な課題を抱える生活困窮者など支援を要すると考えられる場合には、速やかに関係部署と連携し納税者に寄り添う身近な収納サービスを展開することに努めました。



## SDGs推進に係る重点取組項目



「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」の選定を受け、さばえSDGs推進シンポジウムの開催やSDGs推進にかかる包括連携協定の締結など、女性活躍や教育等の分野を中心に、企業や学校、市民団体等と協働で、地域特性を活かした様々なSDGsの推進を実践したとともに、「元気さばえっ子・ゆめみらい債」を発行するなど、市民の行政への参加意識の向上を図り、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の達成に寄与しました。

男女が共に活躍できるまちづくりに向けた啓発事業や研修会等の実施とともに、企業や事業所に対するワーク・ライフ・バランスの推進や働きやすい職場環境整備の促進、「第5次鯖江市男女共同参画プラン」の策定などを通して、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成に寄与しました。

第2期総合戦略策定において、新たに「Society 5.0の実現」を掲げ、働きたくなる職場づくりのロールモデル確立を目指すとともに、「予算査定の入力」、「障害者認定業務」へのRPA導入による業務効率化に取り組み、目標8「働きがいも経済成長も」の達成を目指しました。

## 2 課題

- 1 SDG s 未来都市の選定を受け、市民や企業等に対する更なる啓発やPR・連携強化を通して認知度や理解度の向上に取り組み、それぞれが「自分事として行動する」機運を高めることで、持続可能な地域社会の構築を目指す必要があります。また、ジェンダー平等の実現に向けて「男性の理解と意識改革の推進」「女性の参画意欲の向上」に関する各種施策を着実に実施することで、本市の地域特性を活かしたSDG s の推進に取り組む必要があります。
- 2 本市の先進的な取り組みやものづくりをはじめとした豊富な魅力ある地域資源を、SNSなどを活用して広く内外に発信し、本市に関心を持ち、協働での取り組みなどかかわりを持ちたいと思う人や企業、大学を増加させ、関係人口として”さばえファン”の獲得に努め、将来的に移住・定住人口の増加につなげていきます。
- 3 今後も厳しい財政状況が予想される中、財政収支見通しを毎年見直ししながら、プライマリバランスを堅持していくことと厳しい自治体間競争下、ふるさと納税を上積みするために鯖江の魅力を紹介するためのお礼品の発掘、開発、見直しが課題となります。
- 4 今年度策定した個別施設計画（学校、市営住宅を除く。）と令和2年度に策定されるインフラ施設の個別施設計画の取りまとめに着手し、国が令和3年度までに要請している公共施設等総合管理計画の改訂に向けた作業を推進します。
- 5 行政事務・手続きのデジタル化/キャッシュレス化を推進するため、ICT技術を活用したサービスの導入、基盤整備、セキュリティ確保、人材育成について、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。
- 6 納税者の申告の利便性を図ることや市税の賦課事務における業務改善を進めるという観点から、電子申告の利活用を推進していく必要があります。また、引き続き市民に対し、税情報を分かりやすく提供していく必要があります。
- 7 納税者に対し、口座振替やスマホアプリ収納を推奨するため、更なる広報啓発が必要です。また、新型コロナウイルスにより納税に関する影響を受けた個人や企業に対しては、納税相談窓口を開設し納税負担軽減等を考慮した納税を求めることで収納率低下を防止することが必要です。生活困窮者等への対応に関しては、関係各課と相互連携を密にする必要があります。

### 3 重点的に進める項目の取組結果

<取組項目> □ □ □	<取組結果>
<p><b>1.総合戦略の着実な推進と検証の実施</b></p> <p>総合戦略の着実な推進に向けて、部ごとに年度取組み目標を定めた施策方針を策定し、職員の総力を挙げて各施策に積極的に取り組みます。また、行政評価を実施し次年度の予算編成に活かします。さらに計画の最終年を迎える「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、KPI（成果指標）の達成状況を踏まえた改定を行います。</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>総合戦略の着実な推進に向けて、部ごとに年度取組み目標を定めた施策方針を策定し、職員の総力を挙げて各施策に積極的に取り組みました。また、次年度の予算編成に向けて、事務事業評価およびイベント事業を対象とした第三者評価を実施し、各施策の適正化を図りました。さらに、計画の最終年を迎える「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、第1期戦略の成果と課題を踏まえて改定を行いました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各部施策方針               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部施策方針の策定 5月</li> <li>・ 各部施策方針の総括 3月</li> </ul> </li> <li>◆ 行政評価               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各課で継続事業の事務事業を評価(第1次評価) 6月</li> <li>・ 継続事業の方向性を決定 11月</li> <li>・ 第三者評価を実施 11月</li> </ul> </li> <li>◆ 総合戦略               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPI（成果指標）の達成状況の把握 8月</li> <li>・ 総合戦略推進会議の開催 3回</li> <li>・ 総合戦略の改定 3月</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各部施策方針               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部施策方針の策定 5月[A]</li> <li>・ 各部施策方針の総括 3月[A]</li> </ul> </li> <li>◆ 行政評価               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各課で継続事業の事務事業を評価(第1次評価) 7月[B]</li> <li>・ 継続事業の方向性を決定 11月[A]</li> <li>・ 第三者評価を実施 11月[A]</li> </ul> </li> <li>◆ 総合戦略               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPI（成果指標）の達成状況の把握 8月[A]</li> <li>・ 総合戦略推進会議の開催 7回[A]</li> <li>・ 総合戦略の改定 3月[A]</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>2. 指定管理施設の管理運営に係る評価の実施</b></p> <p>施設所管課による内部評価を実施するとともに、指定管理者を対象とした研修会を実施することにより、利用者へのサービスの向上と適正な管理運営を図ります。</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>モニタリングの強化を図るため、施設所管課による内部評価を実施するとともに、指定管理者を対象とした指定管理業務に関する労務管理講座を実施し、指定管理者による適正な労務管理の推進を図りました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 指定管理者制度推進に関する基本方針の策定 4月</li> <li>◆ 内部評価の実施 7月</li> <li>◆ 研修会の実施 7月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 指定管理者制度推進に関する基本方針の策定 4月[A]</li> <li>◆ 内部評価の実施 6月[A]</li> <li>◆ 研修会の実施 7月[A]</li> </ul>
<p><b>3. 移住・定住の促進</b></p> <p>移住・定住に対する情報や暮らしのサポート、伝統的な地域産業の魅力を積極的にPR・対外発信するとともに、移住就職者を支援することにより、移住人口・定住人口の増加を図ります。また、人口の社会増減についての原因分析や今後の移住・定住促進を図る参考とするため実施している転入・転出者対象のアンケート結果を整理し活用していきます。</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>都市圏での移住・定住に関する相談会で積極的にPR・対外発信するとともに、移住マッチングサイトを活用して、RENEWやフォトコンテスト等のイベントの情報発信を行うなど、地域の魅力をPRしました。移住支援金の要綱を作成し、移住就職者を支援できる体制を整え、移住人口・定住人口の増加に向けて取り組みました。また、転入・転出者対象のアンケートでは、今後の移住・定住促進を図るための参考となるよう、アンケート結果を集計・分析しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ イベントを利用した情報発信や相談会の開催 5回</li> <li>◆ 庁内担当者連絡会議の開催 4回</li> <li>◆ 移住支援金対象法人登録数 15事業所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ イベントを利用した情報発信や相談会の開催 5回[A]</li> <li>◆ 庁内担当者連絡会議の開催 4回[A]</li> <li>◆ 移住支援金対象法人登録数 12事業所[B]</li> </ul>



< 取組項目 > □ □	< 取組結果 >
<p><b>4. 持続可能な地域モデルの推進</b></p> <p>持続可能な開発目標（SDGs）推進に向けて、新たに全庁体制の推進チームを設置し、啓発活動や研修会等を積極的に実施することで、市民への認知度向上と意識の醸成を図ります。また、本市の現状をふまえて、持続可能な地域社会の確立に向け、魅力ある雇用の創出や女性活躍、市民主役のまちづくり、シェアリングエコノミー等を中心に、着実に施策を展開します。</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けて、14課15名による推進チームを設置し、各部での着実な推進を図ったとともに、様々な市のイベントと連携した啓発活動や学校や企業、市民団体等への研修会を積極的に実施しました。市民への認知度向上と意識の醸成を図るため、市内外の企業や国連の友AP等と連携し、市民参加型の推進シンポジウムを開催したほか、眼鏡業界と連携したキャンペーンも実施し、鯖江型SDGs推進の確立につなげました。また、カーシェアに関するセミナーやサービス登録の個別支援、SNSを活用した啓発などによりシェアリングエコノミーの利用促進を図りました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国連の友アジアパシフィックとの連携協定締結 5月</li> <li>◆ ニューヨーク国連本部SDGs推進会議における本市の取組み報告 6月</li> <li>◆ SDGs推進事業の実施 20事業</li> <li>◆ シェアリングエコノミーセミナーの実施 2回</li> <li>◆ シェアリングエコノミーの利活用・SNS活用の個別支援 5件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国連の友アジアパシフィックとの連携協定締結 5月[A]</li> <li>◆ ニューヨーク国連本部SDGs推進会議における本市の取組み報告 6月[A]</li> <li>◆ SDGs推進事業の実施 27事業[A]</li> <li>◆ シェアリングエコノミーセミナーの実施 2回[A]</li> <li>◆ シェアリングエコノミーの利活用・SNS活用の個別支援 7件[A]</li> </ul>
<p><b>5. 女性が活躍できる地域づくりの推進</b></p> <p>男女が共に、就業や家庭や地域とのバランスのとれた生活を実現するために、労働時間の短縮や就業形態の改善など、企業に対する働きやすい環境づくりの普及啓発に努めます。また、男女共同参画に関するワークショップや学習会等を開催し、参加者の意見やアンケートの調査結果を取り入れ、持続可能な開発目標（SDGs）にもつながるよう、男女共同参画プランを策定するとともに、地域における女性の活躍を推進し、市の審議会等への女性の参画率の向上を図ります。</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>男女が協力し、仕事、家庭、地域等とのバランスのとれた生活を実現するため、企業へのワーク・ライフ・バランス診断や地域での男女共同参画の学習会等を開催しました。また、男女共同参画（女性活躍）に関する市民意識調査および事業所向けアンケートを実施し、アンケートの結果を踏まえ、持続可能な開発目標（SDGs）の一つである「ジェンダー平等の実現」につながるよう、第5次男女共同参画プランを策定したとともに、男女共同参画拠点施設である夢みらい館・さばえの耐震改修工事を行いました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第5次鯖江市男女共同参画プランの策定 3月</li> <li>◆ 地域における男女共同参画に関する学習会等の実施 10回</li> <li>◆ 企業におけるワークライフバランス診断数 4事業所</li> <li>◆ 市の審議会等への女性の参画率 35%</li> <li>◆ 夢みらい館・さばえの耐震改修工事完了 3月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第5次鯖江市男女共同参画プランの策定 3月[A]</li> <li>◆ 地域における男女共同参画に関する学習会等の実施 7回[-]</li> <li>◆ 企業におけるワークライフバランス診断数 4事業所[A]</li> <li>◆ 市の審議会等への女性の参画率 32.3%[B]</li> <li>◆ 夢みらい館・さばえの耐震改修工事完了 3月[A]</li> </ul>
<p><b>6. 市が保有する情報や資料の共有化</b></p> <p>市民が鯖江市に愛着と誇りを持てるよう、地域や学校の取組みや鯖江ならではの魅力あふれるまちづくりの情報発信に努めます。また、市の情報をケーブルテレビやFM放送などのメディア、ホームページやSNSなどを活用し、迅速にそしてよりわかりやすくお知らせすることにより、市民との情報の共有化や一体感の醸成を図ります。</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>広報さばえでは、シリーズ化した学校紹介や輝き人にて地域の魅力を発信するとともに、市が推進するSDGsについて、各目標に対する市の取り組みを分かりやすく紹介するなど、市民目線での情報発信に努めました。また、SNSを活用した情報発信にも力を入れたことにより、フォロワー数が増加するなど関係人口の創出にも努めました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 市政情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報さばえを読んでいる人の割合（アンケート実施） 90%</li> <li>・ ケーブルテレビでの市の施策発信 5回</li> <li>・ 市公式ホームページのトップページアクセス数 120万回</li> <li>・ 市公式ホームページの多言語年間アクセス数 24万回</li> </ul> </li> <li>◆ めがねのまちさばえ応援隊登録数（SNSフォロワー数） 6,500人</li> <li>◆ 行政出前講座の開催 800回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 市政情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報さばえを読んでいる人の割合（アンケート実施） 87%[A]</li> <li>・ ケーブルテレビでの市の施策発信 8回[A]</li> <li>・ 市公式ホームページのトップページアクセス数 117万回[A]</li> <li>・ 市公式ホームページの多言語年間アクセス数 23万回[A]</li> </ul> </li> <li>◆ めがねのまちさばえ応援隊登録数（SNSフォロワー数） 7,767人[A]</li> <li>◆ 行政出前講座の開催 625回[-]</li> </ul>

< 取組項目 > □ □		< 取組結果 >	
<b>7. シティプロモーションの推進</b> 他の自治体との差別化に向けた、まちの「顔」と「個性」を活かした特色あるまちづくりを進めるとともに、応援企業とのコラボレーションにより本市の地域資源をさらに掘り起こし、若者が住みたくなる、働きたくなる魅力ある地域ブランド「めがねのまちさばえ」の世界飛翔を目指したシティプロモーションを展開します。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> これまでのシティプロモーションにより本市の認知度が高まりを見せる中、今年度も応援企業とのコラボレーション企画や協働イベント、さばえファン獲得に向けた新サイト公開などにより本市の魅力を広く発信しました。また、未来を担う若い世代に鯖江の良さを再認識する事業など、地域ブランド「めがねのまちさばえ」のさらなる向上と若者定住に向けたふるさと鯖江愛醸成に努めました。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「めがねのまちさばえ」の情報発信 ・全国発信できる事業の実施 5事業</li> <li>◆ 「めがねのまちさばえ応援企業」新規認定数 10社</li> <li>◆ 「めがねのまちさばえ応援企業」コラボ事業 5事業</li> <li>◆ シティプロモーション推進チーム会議の開催数 4回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「めがねのまちさばえ」の情報発信 ・全国発信できる事業の実施 6事業 [A]</li> <li>◆ 「めがねのまちさばえ応援企業」新規認定数 16社 [A]</li> <li>◆ 「めがねのまちさばえ応援企業」コラボ事業 5事業 [A]</li> <li>◆ シティプロモーション推進チーム会議の開催数 4回 [A]</li> </ul>	
<b>8. ふるさと納税の推進</b> 一人でも多くの方から寄附していただき、市への応援の気持ちを地域活性化につなげるため、新たなふるさと納税ポータルサイトを追加するとともに、内容を充実させ、更なるふるさと納税寄附の確保に努めます。また、クラウドファンディングの仕組みを利用したふるさと納税も積極的に活用します。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> ふるさとチョイス、さとふる、ANAのふるさと納税に加え、楽天ふるさと納税を新たなポータルサイトとして追加するとともに、内容を充実させ、さらなるふるさと納税寄附の確保に努めました。また、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、さまざまな機会を通してふるさと納税の確保と市のPRに努めました。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ふるさと納税目標 2.5億円</li> <li>◆ クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業数 6事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ふるさと納税寄附額 2.5億円 [A]</li> <li>◆ クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業数 6事業 [A]</li> </ul>	
<b>9-1. 財政健全化指標の適正水準の維持</b> 財政健全化指標の適正水準を維持し、子や孫の将来世代に負担を残さない健全な財政運営に努めます。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> 財政健全化目標の適正水準を維持し、子や孫の将来世代に負担を残さない健全な財政運営に努めました。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 財政健全化指標等の平成30年度決算における目標値</li> <li>・財政調整基金の年度末残高 25億円以上</li> <li>・実質赤字比率 0%未満（黒字）</li> <li>・連結実質赤字比率 0%未満（黒字）</li> <li>・実質公債費比率 10.5%以下</li> <li>・将来負担比率 7.0%以下</li> <li>・市債残高（臨時財政対策債を除く） 150億円以下</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 財政健全化指標等の平成30年度決算における目標値</li> <li>・財政調整基金の年度末残高 31.7億円 [A]</li> <li>・実質赤字比率 0%未満（黒字） [A]</li> <li>・連結実質赤字比率 0%未満（黒字） [A]</li> <li>・実質公債費比率 8.1% [A]</li> <li>・将来負担比率 0%以下 [A]</li> <li>・市債残高（臨時財政対策債を除く） 142.1億円 [A]</li> </ul>	
<b>9-2. 公共施設使用料改定にかかる周知</b> 公共施設の使用料について、消費税率の改定に伴う消費税の転嫁および利用者への減免制度の周知を行います。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> 公共施設の使用料について、新たな使用料および減免制度の周知を図りました。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 広報紙による周知 2回</li> <li>◆ 減免制度の運用方針の策定 9月</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 広報紙による周知 2回 [A]</li> <li>◆ 減免制度の運用方針の策定 9月 [A]</li> </ul>	

＜取組項目＞ □ □		＜取組結果＞	
<b>10. 元気さばえっ子・ゆめみらい債の発行</b> 元気さばえっ子・ゆめみらい債を4億円発行し、市民の行政への参加意識を醸成するとともに、資金調達が多様化を図ります。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> 元気さばえっ子・ゆめみらい債を10月に4億円発行し、市民の行政への参加意識を醸成するとともに、資金調達の多様化を図りました。	
◆ 広報紙等による周知 ◆ 4億円の発行	1回 10月発行 完売	◆ 広報紙等による周知 ◆ 4億円の発行	1回[A] 10月発行 完売[A]
<b>11. 鯖江市公共施設等総合管理計画の着実な推進</b> 鯖江市公共施設等総合管理計画を推進するため、施設の長寿命化および維持管理費の平準化を目的とする「個別施設計画」の策定を推進し、基礎情報（耐震、劣化度、運用コスト等）を整備します。		<b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b> 個別施設計画策定業務については、R1.6.11にプロポーザル審査会を実施し、参加2社より(株)パスコを選定。以降、打ち合わせを重ね、計画策定を進めました。 システムへの情報登録については、所管課に対する入力依頼と既存資料からのデータ収集を行い、建築営繕課との点検を経て作業を進めました。	
◆ 個別施設計画策定支援業務の業者選定 ◆ システムへの建物施設の情報登録	6月末 8月末	◆ 個別施設計画策定支援業務の業者選定 ◆ システムへの建物施設の情報登録	6月[A] 2月末[B]
<b>12-1. 行政事務・手続きのデジタル化/キャッシュレス化推進とICTを活用したまちづくりの推進</b> 行政事務・手続きのデジタル化/キャッシュレス化推進により、仕事の流れを適正かつ抜本的に見直し、大幅な効率化を図ります。また、ICT（情報通信技術）を活用したまちづくりを行うために環境整備を進めるとともに、市民の誰もがICTの恩恵を受けることができるよう、様々な情報化施策を推進します。		<b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b> 各課業務ヒアリングを行って現状の課題整理を行うとともに、今後の施策展開の指標となる「鯖江市情報化戦略プラン」を職員向けに策定しました。 また、市民窓口課や市内公共施設でのキャッシュレス決済の導入に取り組みました。 さらに、タブレット端末やアプリケーションに親しむ「ITに親しむ講座」、幅広い市民の方にITをより身近なものとして感じてもらう体験型の「IT推進フォーラム」を開催し、多くの方に参加いただきました。	
◆ 行政事務・手続きのデジタル化/キャッシュレス化に向けたアクションプラン策定 ◆ 公共施設における公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進 ◆ IT推進フォーラムの参加者数 ◆ タブレット、アプリの使用方法やfacebookなどSNS講座の開催 ◆ 職員のfacebookアカウント登録数 ◆ さばレポアプリの新規ダウンロード数(H30年度末 651件→751件) ◆ 電子申請の利用件数	11月 3施設 350人 20回 200人 290人 100件 9,500件	◆ 行政事務・手続きのデジタル化/キャッシュレス化に向けたアクションプラン策定 ◆ 公共施設における公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進 ◆ IT推進フォーラムの参加者数 ◆ タブレット、アプリの使用方法やfacebookなどSNS講座の開催 ◆ 職員のfacebookアカウント登録数 ◆ さばレポアプリの新規ダウンロード数(R1年度末 751件→897件) ◆ 電子申請の利用件数	3月[B] 2施設[C] 480人[A] 22回 263人[A] 291人[A] 146件[A] 10,098件[A]
<b>12-2. 情報システム導入対応と情報セキュリティの強化</b> 各課の情報システムの導入や更新時に技術的な助言を行い、各業務の効率化とセキュリティ確保の支援を行います。また、マイナンバー制度運用に合わせて、技術的・物理的・人的セキュリティの強化を図ります。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> 各課が独自に導入や更新を行っている情報システムについて、データ標準化などの基本方針を伝えながら技術的な助言を行い、各業務の効率化とセキュリティ確保の支援を行いました。 また、人的セキュリティ強化のため、個人情報に関するファイルサーバ運用規定を定め、職員研修を行いました。	
◆ 情報システム導入対応率 ◆ 情報セキュリティ内部監査の実施 ◆ 情報セキュリティ研修の実施(情報セキュリティ担当者・庁内LANサポータ対象)	100% 15件 2回	◆ 情報システム導入対応率 ◆ 情報セキュリティ内部監査の実施 ◆ 情報セキュリティ研修の実施(情報セキュリティ担当者・庁内LANサポータ対象)	100%[A] 16件[A] 2回[A]

< 取組項目 > □ □		< 取組結果 >	
<b>13. 各種統計データの公開と統計調査体制の強化</b> 国・県・市の政策立案や施策の推進の元となる統計調査を実施し、鯖江市に關係する各種統計データを公開するとともに、鯖江市の統計調査体制の強化を推進します。		<b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b> 適正で正確な統計調査を実施し、鯖江市に關係する各種統計データを公開するとともに、鯖江市の統計調査体制の強化のため研修会を開催し、調査員同士の情報交換を行って能力向上を図りました。	
◆ 鯖江市統計書の作成 9月 ◆ 登録調査員の充実 130人 ◆ 鯖江市統計協会研修の実施 2回		◆ 鯖江市統計書の作成 10月[B] ◆ 登録調査員の充実 134人[A] ◆ 鯖江市統計協会研修の実施 1回[-]	
<b>14-1. 税務広報の充実</b> 分かりやすい税情報の提供を行い、納税者の税知識の高揚に努めます。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> 市民に分かりやすい税情報を提供するため、各種納税通知書発送時に当該税目の制度等に関するチラシを同封したほか、広報誌・市HPへの掲載や現場での説明を行うなど、納税者の税知識の高揚に努めました。	
◆ 市民税の公的年金特別徴収制度の周知 ・ 納税通知書にチラシを同封 1回 (5,000人) ◆ 国保税の制度および次年度に予定している税率改正等の周知 ・ 納税通知書にチラシを同封 1回 (7,800人) ・ 広報さばえ、ホームページ掲載 全4回 ◆ 家屋評価調査時における固定資産税等説明 チラシの配布および説明 全数 ◆ 相続登記制度の周知 ・ 納税通知書に相続登記啓発チラシを同封 1回 (27,000人)		◆ 市民税の公的年金特別徴収制度の周知 ・ 納税通知書にチラシを同封 1回 (6,154人) [A] ◆ 国保税の制度および次年度に予定している税率改正等の周知 ・ 納税通知書にチラシを同封 1回 (8,100人) [A] ・ 広報さばえ、ホームページ掲載 全4回 [A] ◆ 家屋評価調査時における固定資産税等説明 チラシの配布および説明 全数 [A] ◆ 相続登記制度の周知 ・ 納税通知書に相続登記啓発チラシを同封 1回 (27,289人) [A]	
<b>14-2. 適正課税の推進</b> 市民の市税に対する理解を深めるため、税制度を分かりやすく積極的に広報するとともに、公平負担の原則のもと適正な課税に努めます。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> 市民税の未申告者に対し、申告書の送付や戸別訪問を行い申告勧奨に努めました。また、償却資産についても未申告者に対して催促を行い、申告勧奨に努めました。	
◆ 市民税申告の勧奨 100% ◆ 償却資産新規未申告者への訪問調査率 100%		◆ 市民税申告の勧奨 100% [A] ◆ 償却資産新規未申告者への訪問調査率 100% [A]	
<b>15. 市税等の収納率向上</b> 電話による督促や夜間納税相談を実施するとともに、納税や上下水道料金等の口座振替やクレジットカードによる納付の利用促進を図ります。また、市税や国民健康保険税、上下水道料等の収納率の向上に努めます。		<b>【成果等】 目標を達成しました。</b> 毎週火曜日に実施している夜間納税相談に加え、5・8・9・12・2月には特別夜間納付相談日を設け納税指導を行うとともに電話催告や滞納処分を適時実施し収納率の向上に努めました。 年2回、鯖江市納税貯蓄組合連合会と連携し市税等の口座振替啓発活動を実施しました。 スマートフォンアプリによる収納チャネルを二つ追加し、キャッシュレスによる納税者の利便性の向上を図りました。	
◆ 市税および使用料等の収納率（現年分） ・ 市税 98.5% ・ 国民健康保険税 95.0% ・ 介護保険料普通徴収分 87.5% ・ 上下水道料 97.0% ◆ 夜間納税相談の実施（年間） 48日		◆ 市税および使用料等の収納率（現年分） ・ 市税 98.8% [A] ・ 国民健康保険税 95.0% [A] ・ 介護保険料普通徴収分 89.5% [A] ・ 上下水道料 96.5% [A] ◆ 夜間納税相談の実施（年間） 48日 [A]	